

談話室

“第8回表面科学基礎講座”を
振り返って

福田 安生

静岡大学電子工学研究所 〒432 浜松市城北 3-5-1

(1989年6月5日 受理)

The 8th Surface Science Lecture Course

Yasuo FUKUDA

Research Institute of Electronics,
Shizuoka University
3-5-1, Johoku, Hamamatsu-shi 432

(Received June 5, 1989)

今年の“表面科学基礎講座”は昨年とやや異なり“表

面, 界面分析の基礎と応用”と, 界面を入れた点である。それにともない“表面, 界面分析の物理”という講義もプログラムに入れた。界面の問題は薄膜材料や複合材料などに常につきまとう問題であり, 又かなりやっかいな問題である。今後この方面にも力を入れたいと思っている。“表面, 界面の物理”は種々の分析法に共通する基礎的な事項を解説していただくことによって, 各講義をよりよく理解していただくための準備過程とした。

日本表面科学会は今年で設立 10 周年にあたり, 一つのターニングポイントを迎える。その意味で“基礎講座”にとって今年は重要な年であったが, 会員諸氏の御協力を得て, 過去最高の 209 名の受講者を迎え, 大盛況であった。誌上を借りてお礼を申し上げます。来年からも企画委員一同, より斬新な企画を掲げていきたいと思っています。又, 会員諸氏からのアイディアも申し受け致します。下に今年のパログラムを載せておきます。

月 日	講 義 題 目	講 師
5月24日(水) 表面, 界面分析 の基礎	表面, 界面分析の物理 表面構造をどのようにして決めるか 最表面の電子構造を観察する (STM 等) 界面はどのようにになっているのか	二瓶 好正 (東大生研) 井野 正三 (東大理) 市ノ川竹男 (早大理工) 石田 洋一 (東大生研)
5月25日(木) 表層の分析	電子線マイクロアナライザー (EPMA) 固体 NMR 電子顕微鏡 (TEM, SEM, EDX) 赤外分光 (FT-IR), ラマン分光	浜田 広樹 (新日鉄) 林 繁信 (化技研) 板東 義雄 (無機材研) 石田 英之 (東レリサーチ)
5月26日(金) 最表面の分析	オージェ電子分光法 (AES, SAM) 光電子分光法 (XPS) 二次イオン質量分析法 (SIMS) 表面分析で何がどこまでわかるか 表面分析のケーススタディ	吉原 一紘 (金材技研) 福田 安生 (静大電子研) 工藤 正博 (材料科学技術振興財団) 最上 明矩 (日本電子) 吉原, 福田, 工藤, 最上